ポスト・タピオカ

ブーム狙い飲み物続々

岡山県内

キニナルとれんど

タピオカドリンクの人気が落ち着き、岡山県内では次のブームを狙った飲み物が続々と発売されている。わらび餅入りのドリンクや地元産バナナにこだわったジュース、チーズをトッピングしたチーズティー。〝ポスト・タピオカ〟の本命は―。

（大江恵里奈、良田桃子）

わらび餅入り／バナナジュース／チーズティー

〝ポスト・タピオカ〟で売れ行きが伸びているわらび餅ドリンク

太めのストローを吸うと、もちもち、つるんとした食感が楽しめる。ポスト・タピオカの第一候補は、小粒のわらび餅が入った「わらび餅ドリンク」だ。タピオカブームを背景に、菓子製造販売の竹久夢二本舗敷島堂（瀬戸内市邑久町尾張）が5月に売り出した。蒜山ジャージー牛乳を使用した「いちごミルク」「抹茶ミルク」や、レモンソーダなど5種類を用意。わらび餅は本わらび粉を用い、沖縄県産の黒糖などでこくを出したという。

徐々に売れ行きを伸ばしており、全9店舗で1日に約千杯を販売する。同社は「季節に合った新しい味を追加し、1店舗で千杯売るのが目標」とする。

幅広い世代に注目されているバナナジュース

子どもからお年寄りまで幅広い世代に支持される「バナナジュース」にも注目が集まる。JR岡山駅構内のさんすて岡山（岡山市北区駅元町）に、5月にオープンした専門店「田中節三のバナナ」では、皮ごと食べられる岡山県産「もんげーバナナ」のスムージーを提供している。

皮まで使った「皮付き」と「皮なし」の2種類があり、「甘さ控えめが好きな人は皮付きがおすすめ」と同店。ヘルシーさを求める女性にも人気という。

ドリンクの上にチーズフォームをトッピングするチーズティー

昨夏からじわりと人気を上げているのは「チーズティー」。クリームチーズや生クリームを混ぜた「チーズフォーム」をトッピングした台湾発の飲み物だ。

JR倉敷駅北のアリオ倉敷（倉敷市寿町）内の専門店「Bull Pulu」では、ミルクティーやほうじ茶などとともに楽しめる。同店は「チーズの部分だけ飲んだり、ドリンクと混ぜたりして味わいの変化を楽しんで」としている。

黄色ストロー注文急増 シバセ工業

ストロー製造のシバセ工業（浅口市鴨方町六条院中）では、バナナジュース用ストローの注文が急増している。今年上半期は約12万本と、前年同期の10倍以上になった。

バナナジュースには黄色のストローを使う店が多く、自社ウェブサイトに「しあわせの黄色いストロー」と題した専門店向けのページを特設。太さや包装などが異なる19種類の製品を掲載している。同社は「各地で新店舗がオープンしているようだ」と引き合いの多さに驚いている。

（良田桃子）

ていて、ファミマは伊
忠の子会社に当たる
。伊藤忠が1998年、
営が悪化していた西友

伊藤忠

競争

商品開
アイス
○×キャンペーン

イラスト　イケウチ　リリー

経

誠二　じゃあ商社から
見たメリットは。
友子　商社にとって、
コンビニは全国に商材を

ていて、
グストア
くなって
拡大路線